

- 1 ねらい
自己の価値観や適性に基づいて、より自分に適した職業(将来の夢)を見つけようとしている。
- 2 準備
教師 思考補助シートA、プランニングシート、大事にしたいものカード
生徒 総合ファイル(「自分さがし」・「職業調べ」・「職場体験」のワークシート)
- 3 評価方法 思考補助シートA、プランニングシート
- 4 展開

学 習 活 動	学習への支援及び支援上の留意点 (<input type="checkbox"/> は発問)	分	シート
<p>「大事にしたいものランキング」で自分の価値観を知る。</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">将来、仕事をする際に、大切にしたいものはなんだろう？</p> <p>教師の用意した14枚の「大事にしたいものカード」を黒板に貼り、全体でやり方を確認する。(カードの内容を以下に示す)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分の能力を発揮できる 結果に達成感ももてる 美しいものを創り出せる 人の役に立てる 束縛されず自分の力でやれる 新しいものを創り出せる お金がたくさん稼げる 自分らしい生き方ができる 身体を動かせる 社会から成果を認めてもらえる①わくわく感がある②いるいるな人と関わりがもてる③多様な活動ができる④仕事環境が心地よい</p> <p>思考補助シートAを配付する。 価値があると思うものを5つ選び、1～5位の順位を付けるという方法を指示する(黒板上で意見を聞きながら全体で確認) 個人で結果をワークシートにまとめさせた後、挙手により数人に自分のパターンと1位に挙げた価値の理由を発表させる。</p>	20	<input type="checkbox"/> 思 A
<p>自分の興味や適性を分析し、自分に合った職業について考える。</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分に適している職業を分析してみよう。</p> <p>思考補助シートAの裏面に質問項目や計算方法を、表面に結果を記入する六角形のチャート枠を掲載しておく。 (「CAREER MATRIX」(独立行政法人 労働政策研究・研修機構)の「適職探索ナビ」にある質問項目を参考にした、分析アンケートである) 質問項目は教師が読み上げ進行時間の管理をする。(1問30秒程度で進め、集計以降の時間を確保する) 能力(できるか)ではなく、「興味(好きか)」を問うための質問であることを強調する。 回答を数値化し、結果を六角形のチャートに表す。 最も得点の高かったアルファベットを確認させ(同点の場合は両方で考える)、思考補助シートAに掲載した「R・I・A・S・E・C」に該当する職業種の中から、「中では一番自分に向いていると思われるもの」を選択して、「<input type="checkbox"/>」で囲ませる。(複数可)</p>	20	<input type="checkbox"/> 思 A
<p>診断結果と自分の認識を結び付けて、「適した職業」について考えをまとめる。</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分に適していると診断された職業の納得度を書き、なぜそう考えるのか理由も書いてみよう。</p> <p>プランニングシート を配付する。 「<input type="checkbox"/>」で囲んだ職業をプランニングシートの「適性調べの結果より」欄に記入させ、その結果に対する満足度を記入させる。 「自分さがし」「職業調べ」の学習と結び付け、当時の結果と比較させながら、なぜその満足度なのか理由をまとめさせる。 思考補助シートAとプランニングシート を集める。</p>	10	<input type="checkbox"/> プ

- 5 評価
自己の価値観や適性に基づいて、より自分に適した職業(将来の夢)を見つけようとする姿勢がみられたか。